

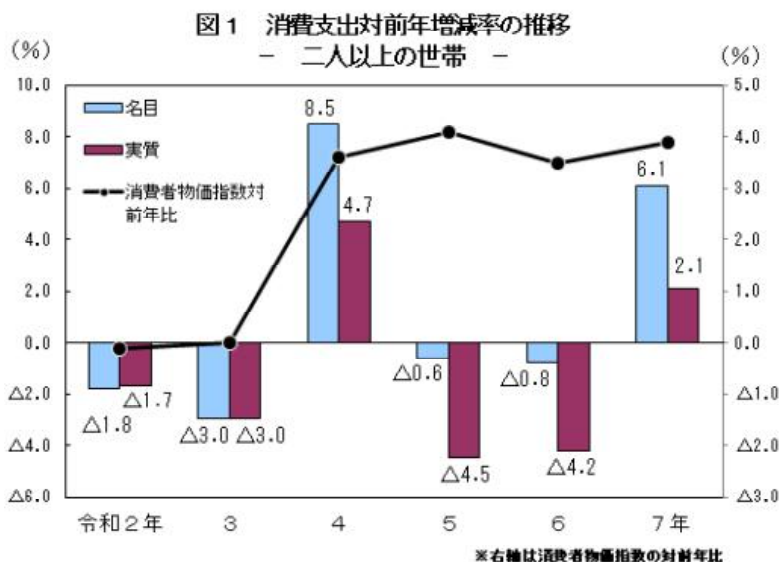
家計調査（令和7年（2025年）平均）結果の概要

（総務省統計局－北海道分）

1 二人以上の世帯の消費支出

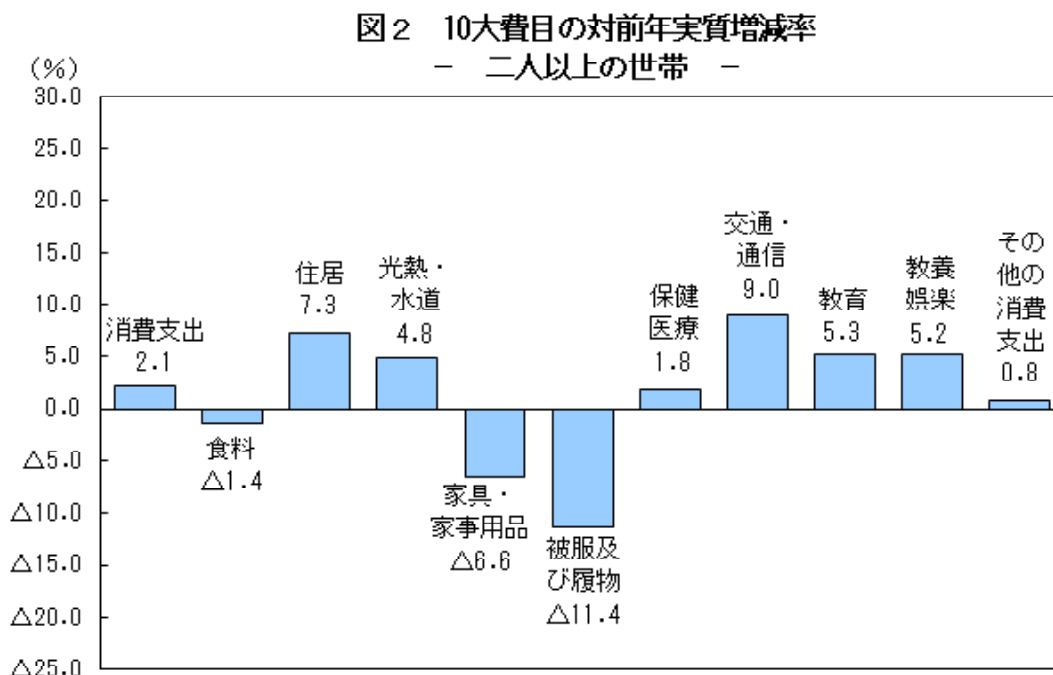
(1) 消費支出

令和7年（2025年）の二人以上の世帯（平均世帯人員2.69人、平均有業人員1.22人、世帯主の平均年齢60.3歳）の消費支出は1か月平均29万4,154円で、前年に比べ名目6.1%の増加、実質は2.1%の増加となった。（統計表 第1表）（図1）



(2) 費目別の実質対前年比

二人以上の世帯の消費支出を10大費目別に対前年実質増減率で見ると、住居が7.3%、光熱・水道が4.8%、保健医療が1.8%、交通・通信が9.0%、教育は5.3%、教養娯楽は5.2%、その他の消費支出が0.8%増加した。一方、食料は1.4%、家具・家事用品は6.6%、被服及び履物が11.4%減少した。（図2）



(3) 費目別構成比

1か月平均の消費支出を10大費目別の構成比で比較すると、食料が27.2%で最も多く、以下、その他の消費支出(17.6%)、交通・通信(15.7%)、光熱・水道(10.7%)、教養娯楽(8.9%)、住居(7.0%)、保健医療(4.5%)、家具・家事用品(3.9%)、被服及び履物(2.6%)、教育(1.8%)の順となっている。特に教育の消費支出に占める割合は全国平均の約半分程度である。(表1)

表1 消費支出の費目別構成比の推移－二人以上の世帯－

(単位：%)

費目	北海道						全国					
	令和2年	3年	4年	5年	6年	7年	令和2年	3年	4年	5年	6年	7年
消費支出	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食料	28.3	28.3	25.7	25.9	27.4	27.2	27.5	27.2	28.8	27.8	28.3	28.8
住居	7.3	7.0	7.1	7.3	6.7	7.0	6.2	6.6	6.4	6.1	6.0	5.9
光熱・水道	10.3	10.6	10.9	10.6	10.5	10.7	7.9	7.7	8.4	8.1	7.7	7.8
家具・家事用品	4.0	3.9	4.3	3.8	4.4	3.9	4.5	4.3	4.2	4.1	4.2	4.1
被服及び履物	3.2	3.0	3.0	3.1	3.0	2.6	3.2	3.1	3.1	3.2	3.2	3.1
保健医療	4.9	4.8	4.7	4.8	4.8	4.5	5.1	5.1	5.1	5.0	5.1	5.0
交通・通信	14.7	13.8	14.3	16.8	14.8	15.7	14.4	14.2	14.2	14.5	13.9	14.5
教育	2.2	2.4	2.4	1.6	1.9	1.8	3.7	4.3	3.9	3.6	3.9	3.8
教養娯楽	8.4	8.2	8.9	8.2	8.7	8.9	8.7	8.8	9.2	9.7	9.7	9.8
その他の消費支出	18.8	19.8	18.9	17.9	17.8	17.6	18.8	18.8	18.8	17.9	18.0	17.3

(4) 食料にみる消費の特徴

食品の1世帯当たり年間品目別購入数量をみると、北海道ではメロン、ほたて貝、かれいが全国平均の2.5倍以上、次いで、柿、ビール、さんま、さけなどが同じく1.5倍以上購入されている。

一方、干しあじ、あじ、たい、ぶり、さといもなどは購入数量等が少なく、数量で全国平均の3割以下、支出金額で4割以下しか購入されていない。(表2、表3)

表2 全国平均より購入数量及び支出金額が多い主な食品 -二人以上の世帯-

品目	購入数量(グラム)			支出金額(円)		
	北海道	全国	北海道/全国	北海道	全国	北海道/全国
メロン	3 073	1 199	2.6	2 604	868	3.0
ほたて貝	480	184	2.6	1 698	704	2.4
かれい	1 245	471	2.6	1 224	758	1.6
柿	3 155	1 881	1.7	1 859	1 050	1.8
ビール	42.44	25.11	1.7	21 744	13 436	1.6
さんま	1 064	633	1.7	1 457	997	1.5
さけ	3 333	2 005	1.7	7 140	5 295	1.3
かき(貝)	481	294	1.6	616	728	0.8
他の生鮮肉	2 245	1 650	1.4	5 038	3 342	1.5
しじみ	289	209	1.4	413	328	1.3
たこ	566	408	1.4	1 202	1 091	1.1
たらこ	786	580	1.4	2 088	2 027	1.0
塩さけ	1 577	1 204	1.3	3 268	2 664	1.2
ウイスキー	2 187	1 648	1.3	3 396	2 916	1.2
いか	991	791	1.3	1 620	1 683	1.0
焼酎	9 891	7 482	1.3	5 393	5 637	1.0

* ビールの数量の単位はℓ、ウイスキー、焼酎はml。

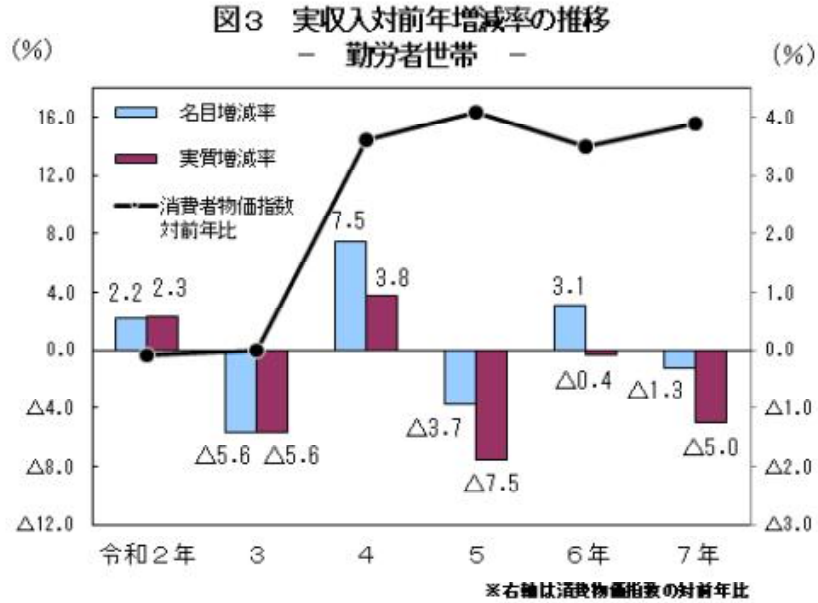
表3 全国平均より購入数量及び支出金額が少ない主な食品 -二人以上の世帯-

品目	購入数量(グラム)			支出金額(円)		
	北海道	全国	北海道/全国	北海道	全国	北海道/全国
干しあじ	70	335	0.2	77	523	0.1
あじ	98	603	0.2	168	970	0.2
たい	125	423	0.3	323	1 039	0.3
ぶり	290	1 104	0.3	837	2 538	0.3
さといも	372	1 102	0.3	328	781	0.4
いわし	183	446	0.4	178	428	0.4
しらす干し	192	357	0.5	742	1 555	0.5
合いびき肉	1 086	2 363	0.5	1 629	3 446	0.5
れんこん	615	1 222	0.5	562	1 012	0.6
牛肉	3 199	5 401	0.6	9 437	20 880	0.5
桃	686	1 082	0.6	756	1 063	0.7

2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の収入と支出

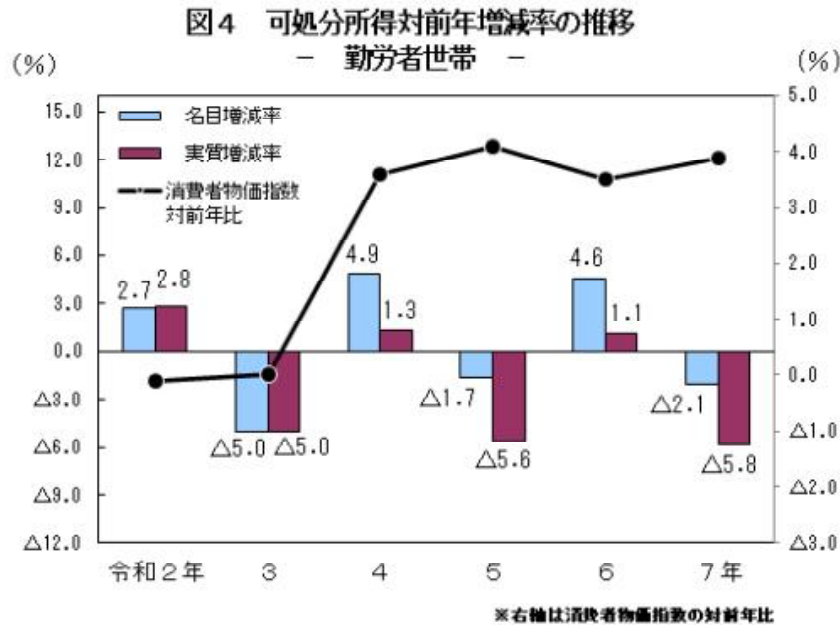
(1) 実収入

二人以上の世帯のうち勤労者世帯（平均世帯人員2.97人、平均有業人員1.78人、世帯主の平均年齢51.1歳）の実収入は、1か月平均57万3,031円で前年に比べ名目で1.3%の減少、実質では5.0%の減少となった。（統計表 第2表）（図3）



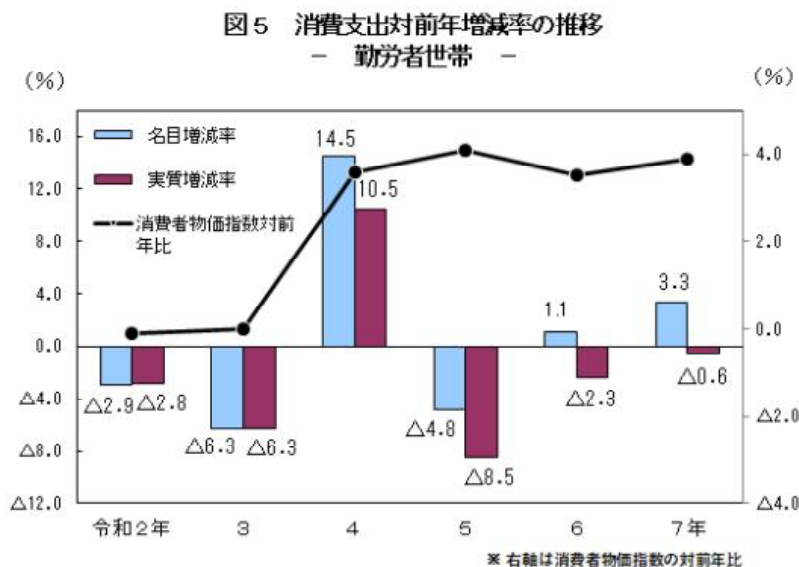
(2) 可処分所得

可処分所得は1か月平均47万5,589円で、前年に比べ名目で2.1%の減少、実質では5.8%の減少となった。（統計表 第2表）（図4）



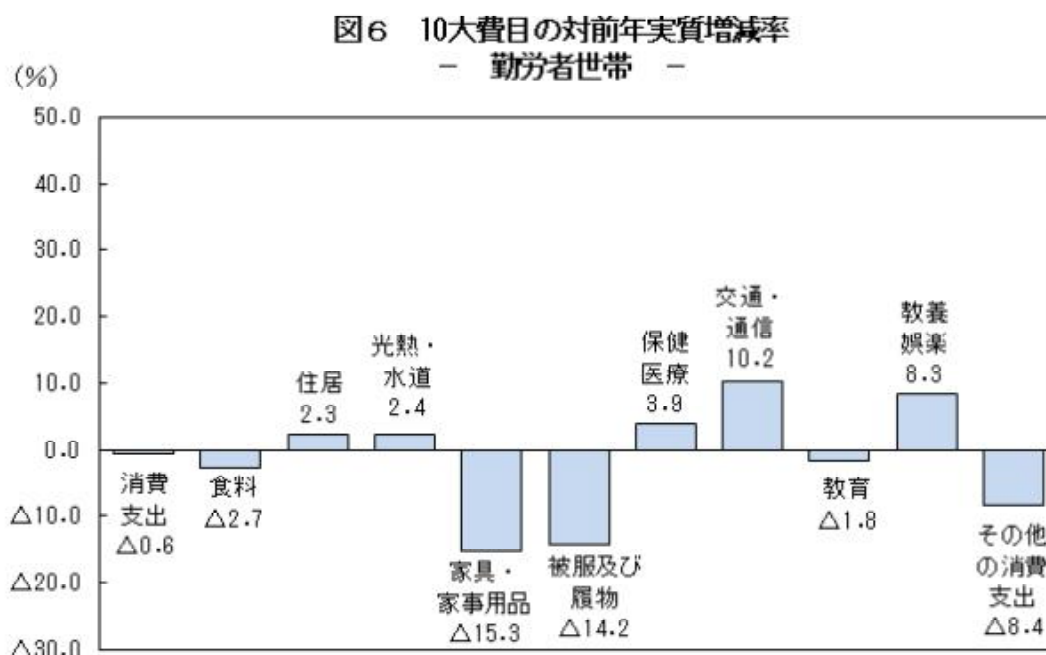
(3) 消費支出

消費支出は1か月平均31万5,925円で、前年に比べ名目で3.3%の増加、実質では0.6%の減少となった。(統計表 第2表)(図5)



(4) 費目別の実質対前年比

勤労者世帯の消費支出を10大費目別に対前年実質増減率で見ると、住居が2.3%、光熱・水道が2.4%、保健医療が3.9%、交通・通信が10.2%、教養娯楽が8.3%の増加となった。一方、食料は2.7%、家具・家事用品は15.3%、被服及び履物が14.2%、教育は1.8%、その他の消費支出が8.4%の減少となった。(図6)



(5) 費目別構成比

1か月平均の消費支出を10大費目別に構成比で比較すると、食料が26.4%で最も高く、以下、交通・通信(18.5%)、その他の消費支出(16.3%)、光熱・水道(9.9%)、教養娯楽(9.1%)、住居(6.7%)、家具・家事用品(3.9%)、保健医療(3.7%)、被服及び履物(2.8%)、教育(2.5%)の順になった。

全国と比較すると、住居、光熱・水道、交通・通信の構成比が高く、食料、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、教育、教養娯楽、その他の消費支出の構成比は低い。特に教育は全国の半分ほどとなっている。(表4)

表4 消費支出の費目別構成比 - 勤労者世帯 -

	北海道		全国	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
消費支出	315 925	100.0	346 297	100.0
食料	83 444	26.4	93 789	27.1
住居	21 214	6.7	20 169	5.8
光熱・水道	31 386	9.9	24 182	7.0
家具・家事用品	12 174	3.9	13 850	4.0
被服及び履物	8 973	2.8	11 965	3.5
保健医療	11 754	3.7	14 574	4.2
交通・通信	58 490	18.5	56 917	16.4
教育	7 984	2.5	18 601	5.4
教養娯楽	28 877	9.1	34 058	9.8
その他の消費支出	51 648	16.3	58 192	16.8

(6) 地方別の状況

1か月平均の実収入を、全国を100とした指数で地方別に比較すると、関東が109.4で第1位。次いで北陸が104.2で全国平均を上回った。北海道は87.6で第8位。北海道と1位の関東との差は指数で21.8ポイント、金額で14万2,106円であった。

次に、1か月平均の消費支出では関東が107.8で第1位。次いで北陸が100.7で全国平均を上回った。北海道は91.2で第8位であった。北海道と1位の関東との差は、指数で16.6ポイント、金額で5万7,398円であった。(表5)

表5 全国・地方別の実収入と消費支出 - 勤労者世帯 -

地方	実額(円)		全国を100とした指数	
	実収入	消費支出	実収入	消費支出
全国	653 901	346 297	100.0	100.0
北海道	573 031	315 925	87.6	91.2
東北	635 205	343 656	97.1	99.2
関東	715 137	373 323	109.4	107.8
北陸	681 227	348 637	104.2	100.7
東海	648 922	336 270	99.2	97.1
近畿	633 387	336 737	96.9	97.2
中国	583 655	325 057	89.3	93.9
四国	617 095	325 960	94.4	94.1
九州	584 234	313 079	86.3	90.4
沖縄	491 227	258 839	75.1	74.7

(7) 収支バランス

令和7年(2025年)の北海道の平均消費性向(※1)は66.4%となり、前年より3.5ポイント増加した。全国は65.0%と前年より2.8ポイント増加した。

また、北海道の黒字率(※2)は33.6%で、前年より3.5ポイント減少した。金融資産純増率(※3)は34.5%で、前年より0.6ポイント増加した。貯蓄純増(平均貯蓄率)(※4)は34.1%で、前年より0.5ポイント増加した。(表6)

※1 平均消費性向(%) = 消費支出 ÷ 可処分所得 × 100

※2 黒字率(%) = (実収入 - 実支出) ÷ 可処分所得 × 100

※3 金融資産純増率(%) = {(貯蓄純増 + (有価証券購入 - 有価証券売却)) ÷ 可処分所得 × 100

※4 貯蓄純増(平均貯蓄率)(%) = {(預貯金 + 保険掛金) - (預貯金引出 + 保険金)} ÷ 可処分所得 × 100

表6 平均貯蓄性向・黒字率の推移 - 勤労者世帯 -

(単位: %)

	平均消費性向(%)		北海道			全国		
			黒字 (黒字率)	金融資産純増 (金融資産 純増率)	貯蓄純増 (平均貯蓄率)	黒字 (黒字率)	金融資産純増 (金融資産 純増率)	貯蓄純増 (平均貯蓄率)
	北海道	全国						
令和2年	62.5	61.3	37.5	31.5	31.4	38.7	35.7	35.2
令和3年	61.8	62.8	38.4	30.9	30.7	37.2	34.7	34.2
令和4年	67.3	64.0	32.7	31.3	31.2	38.0	34.3	33.6
令和5年	65.1	64.4	34.9	31.8	31.5	35.6	35.4	34.8
令和6年	62.9	62.2	37.1	33.9	33.6	37.8	37.5	36.2
令和7年	66.4	65.0	33.6	34.5	34.1	35.0	36.6	35.7